

## Prologue

諸外国から高く評価される日本の教育なのに！  
教師のメンタルヘルスの現状は……

## 第1章 教師という人々

教師の肖像  
教育現場の不思議なメカニズム  
教師のモチベーションの源泉  
教師としての自己有用感—教師の仕事に雑務はない  
教師は忙しい？  
「不適格教員」という名のレッテルは？  
子どもの受け止めは千差万別  
スランプへの対応法  
万策は尽きない！  
教師職人論—器用な人は、教師に向かない  
教師の資質として欠かせない好き嫌い  
優秀な人間と優秀な指導者  
苦手なことを克服しても、アベレージは高まらない  
最後はやっぱりカメが勝つ  
本当に大事なものは目に見えない  
いろんなやり方があっていい  
できれば、おおらかでありたい  
愛される変人になる

## 第2章 同僚、上司と上手につき合う

心の中で舌を出したっていい  
面従腹背でいい  
同僚・上司を上手に見切る  
「ほどほどに」「適当に」つき合う  
上手に頭を切り替える  
努力は成果としては表れない  
「それはあなたの仕事でしょ？」がもたらす不利益  
リーダーシップとフォローシップ  
ポジティブなエネルギーをもらえる人を探す  
上手に愚痴を言おう  
うそも方便  
「遊び」と「揺れ」

## 第3章 親や子どもと上手につき合う

親の損得  
教師、子ども、親を取り巻く三者の力学  
子どもに迎合してはいけない  
道理の通じない親と遭遇したら……  
親との面談  
公教育はサービスではない  
子どもは友達ではない—フレンドになるのではなく、  
フレンドリーになればよい  
褒めることは大切。でも、それだけではダメ  
上手に叱る—理由を引き出し、逃げ道をつくる  
ガチンコ対決を避ける

## 第4章 それでもうまういなくなったら…

本当に心が折れそうになったら「い〜ち、抜〜けた」  
努力を苦痛に感じなくなったら…  
「逃げ道」を用意する  
休みを取ることをためらわない  
実際に休んでみる  
上手な異動願いの提出法  
いざとなったらリセットする・その①  
いざとなったらリセットする・その②  
退職する（異動する）コツ  
人生の決定権は常に自分にある

## 第5章 本筋とはちょっと外れた学校という職場の話

学校に抱く常識は、今の非常識  
学校も社会環境の変化に適應する  
教師の指導方法も時代とともに変わる  
隠蔽体質のメカニズム  
公立学校という日本の教育システム  
学校の組織は銅ぶたではない  
選択すること  
人間関係調整力の弱体化  
優等生主義の本当の問題点  
学校は成果主義と相いれない  
教師の直感こそ、危機を回避する最高のパラメータ

# ストレスを溜めない、人をつながる 悩まない！ 教師のための処世術

なぜ、あの先生は誰からも許されるのか？  
同僚・上司、子ども・保護者と上手につき合う

<http://www.toyokan.co.jp/book/b107891.html>

なぜ、あの先生は誰からも許されるのか？  
同僚・上司、子ども・保護者と上手につき合う  
教師らしい  
ストイックな堅さは、  
諸刃の剣。  
堅いだけでは  
壊れてしまう！

## 教育現場の 不思議なメカニズム

吉田和夫著

四六判／200頁／本体1800円＋税

諸外国からは高く評価される日本の教育。反面、国内では、教師である自分に自信がもてず、心の病気に罹ってしまう教師の急増。こうしたギャップをどう考えればよいのか。

教師である自分はどんな存在なのか。どんな価値をもっているのか。そして、何をがんばり、何ががんばらなくてもよいのか……。

本書は、学校という職場に焦点を当て、今置かれている時代状況や望ましい人間関係の在り方・作り方、そして教師であることの素晴らしさを再確認していきます。

株式会社 東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込5-16-7

Tel. 03-3823-9206 Fax. 03-3823-9208

URL <http://www.toyokan.co.jp>

